



発行:認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会 発行者:秋吉美千代 印刷:ビーグ有限会社

## 施設全体でセラピューティック・ケアを提供できる環境づくりを

理事長 秋吉 美千代

セラピューティック・ケアは、「タッチケア」(触れるケア法)の一つです。ケア法としてだけでなくコミュニケーション法としても、手のぬくもりを通して優しさや思いやりをクライアントの心に届けることができ、笑顔に出会うことができます。

高齢者施設(認知症ケア)や障がい者施設の現場では特にご要望の多い“手あて”ですが、施設として定期的に安定して提供するために、ボランティアに頼らずスタッフがセラピストの資格(施設セラピスト)を取得されるところが増えました。

いつもお世話しているスタッフが習得されることにより、必要に応じて、また定期的にケアを提供することができ、また“絆ホルモン”オキシトシンの効果により、スタッフとクライアントとの良い関係づくりも期待できます。

これまでに、福岡では城戸医院 グループホーム・デイサービスぶどうの樹(筑後市)、株式会社ウェルフェアネット(春日市)、社会福祉法人北九州福祉会サングレース(北九州市)、北海道ではデイサービス絆(小樽市)、栃木県では医療法人社団亮仁会 那須中央病院(大田原市)、はまやグループ株式会社(足利市)などの各施設に、施設セラピストを導入していただきました。

また東京では株式会社ソラストの各事業所に続き、株式会社フィルケア グランフォレスト哲学堂でも、施設のスタッフより入居者さまや地域の方にセラピューティック・ケアを提供していただいています。

協会では、現場のスタッフから寄せられる声も参考にしながら、事例ごとの対応を中心に、施設セラピストの方々のスキルアップに取り組んでいます。



施設セラピスト導入3年目のウェルフェアネット様  
今年は各事業所から若手が選抜され、熱心に学ばれました。

# “いつも寄り添っているスタッフによるケア” 施術セラピスト導入施設に聞いてみました

グランフォレスト哲学堂  
(東京都中野区)  
ホーム長 石橋 典之さん



ソラスト武蔵浦和デイサービス  
(埼玉県さいたま市)  
管理者 武井 寛和さん



**Q** 施設でセラピューテック・ケアを取り入れられたきっかけは?

**A** 住友林業グループのフィルケアが運営する有料老人ホームでは、「人と木のぬくもり」を大切にしたホームの運営をしております。その中でグランフォレスト哲学堂では、エントランスを入ってすぐの木のぬくもりを感じる空間に「地域交流スペース」があります。開設前より地域交流会や認知症カフェで地域の皆さんにお越し頂き、心地よく過ごして頂く方法を考えていた時に、秋吉理事長の施術を直接受けさせて頂く機会があり、言葉には出来ない安心感を覚え「これだ!」と思いました。

**Q** 資格を取られた介護士の感想や意識は?

**A** 職員たちは、ゆとりを持った時間を過ごせ、よりその人らしい生活を支援する事が出来るようになりましたし、心にもゆとりある介護が出来ているようになった気がします。

**Q** 利用者さんの様子や変化は?

**A** 定期的に開催する地域交流会「てつかふえ」にて地域の皆様にも施術した所「こころが落ち着く」「普通のマッサージではないからもみ返しがなくて良い」など、とても好評を頂いております。このセラピューティック・ケアを目的に定期的にお越しになる地域の方もいらっしゃいます。入居者様からは、施術中ゆったりとした時間が流れる中で、普段では聞けないお話を聞け、その方をより深く知ることができ、心繋がるきっかけになっています。

**Q** 今後の課題や展望は?

**A** 今後もセラピューティック・ケアを通して、入居者様へはもちろん、地域交流会でも継続的に実施していくことで、施設と地域が繋がりを大切にし、職員全員が資格を取得し、心繋がる交流を目指していきたいと思います。

**Q** 施設でセラピューテック・ケアを取り入れられたきっかけは?

**A** 創設当時、同じ地域にマシンを取り入れていたデイサービスが少なかったこともあり、「マシンを使った機能訓練」が大きな特徴でした。しかし、次々と新しいデイサービスができ、マシンを導入する施設も増えてきました。そのため、何か新しいサービスがないかと考えた時に、セラピューティック・ケアが大きな売りになるのではないかと思ったのがきっかけです。

**Q** 資格を取られた介護士さんの感想や意識は?

**A** 準備がほとんど必要なく、自身の手だけで、利用者様をリラックスさせることができますので、とても気軽に使えます。また施術しながらお話しすることで、リラックスしてもらえる点も良いと思います。普段は落ち着かない認知症の利用者様が落ち着く様子がみられ、資格を取得して良かったと感じています。

**Q** 利用者さんの様子、変化は?

**A** 施術を行うと、とてもリラックスされています。手のぬくもりでケアすることから、「体が温かくなる感じがする」と話される方が多いです。特に一番効果がわかる例としては、認知症の症状があり、落ち着かない利用者様も施術していると、とてもリラックスされ、入眠される様子もみられます(これはオキシトシンの分泌量が増えるためと言われています)。

**Q** 今後の課題や展望は?

**A** 毎回セラピューティック・ケアを希望される方もいらっしゃるので、そのような希望者が増えるように技術力を高めて行きたいと思っています。また、職員の半数は施術ができますが、全員とまではいかないので、資格の取得者を増やしていくことが課題です。

快くご回答いただいた両施設に感謝いたします。現場のスタッフにとっていかにセラピューテック・ケアが役に立っているかが分かり嬉しく思いました。今後ますます施設セラピストが普及し、より多くの利用者さんに“心と体に寄り添う手あて”が届けられることを願っています。(本部/水上)

福岡

## 台湾の福祉関係者対象の講座を担当しました。

1月25日(木)

水上 尚子

台湾の林雅文先生が企画された日本の福祉を学ぶ研修旅行のため、1月25日～28日、台湾の福祉関係者(施設長や施設職員など)約20名が来福されました。

この企画はこれが3回目ですが、各地の施設視察のほか、約2時間のセラピューティック・ケアの講座も研修のプログラムに毎回組み込まれています。今回は私も、秋吉理事長とご一緒させていただきました。

主催の林先生は台湾・台中の弘光科技大学の准教授であり、数年前、共通の知人を介して秋吉理事長と出会ったことをきっかけに、何度も来日してセラピューティック・ケアを学ばれ、台湾で初めての講師にもなられました。研修当日、秋吉理事長を見かけると「先生、会いたかった！」と大変喜ばれ、そばにいた私も信頼と尊敬と愛情を感じて心が温まりました。

研修は林先生の通訳を通して進められましたが、質問をされる程、みなさん熱心に受講されていました。その後、実際に体験していただき、非常に喜ばれました。言葉は通じなくてもアイコンタクトから始まる手のぬくもりが伝わり、癒し癒される喜びを共感できて、貴重な時間でした。

林先生は現在、セラピスト資格取得のための研修ツアーを企画中とのことで、8月に再来福の予定です。セラピューティック・ケアが英国から日本へ、そして台湾へと広がっていくことは素晴らしいことだと思います。



福岡

## ふくおか“きずな”フェスティバル

2月18日(日)

村田 照子

「共に支え合い、共に生きる地域社会の啓発・促進」を基本理念に、子育て支援の輪を広げる福岡県社会福祉協議会主催のふくおか“きずな”フェスティバルに今回はバルーンアートグループと一緒に、親子で触れ合うワークショップを春日市のクローバープラザで開催しました。

インファンントセラピーで子どもさんとママたちへ癒しのケアをお届けする企画でしたが、子連れの方ばかりではなく、おじいちゃん・おばあちゃん・社会福祉関係者と多くの方が体験。またパパが子どもさんにインファンントセラピーをしてあげる微笑ましい光景も見られました。

バルーン教室、バルーンじゅんけん大会も列をなして大盛況。バルーングループ代表の太田さんは「小さな子どもの『ありがとうございます』が嬉しいですね」と絆の輪が広がった一日でした。



北九州

## 温もりの輪の広がりを感じて

2月25日(日)

宇塚 美千代

九州共立大学で開催された、ボランティアフェスタ八幡西に参加しました。

ブラスバンド演奏、伝統芸能折尾神楽、マジックショー、沖縄伝統舞踊エイサー、ダンスパフォーマンスなどをご観覧いただきながら施術を行いました。参加者はほとんどがボランティア活動をされている方で、セラピューティック・ケアは初めての体験ということでした。

「手の温もりが気持ちよく、うとうとしてしまいました」「体験した事のない気持ち良さ」「心が優しくなりました」「賑やかな中での体験でしたが、良い気分になりました」と喜ばれました。そして、多くの方からの「私もケアする側になれたらいいな」との言葉に本ケアの温もりの輪が少しづつ広がり、もっともっと大きな輪になる事を確信した一日となりました。



福岡

## 一般県民向け「介護講座」を担当しました

2017年6月27日(水)～12月2日(土) 秋吉 美千代

福岡県社会福祉協議会 福岡県介護実習・普及センターより依頼を受け、昨年度に引き続き、平成29年度一般県民向け介護講座のうちの2回を担当しました。

今回のテーマは2回とも、介護を始めようとしている方への介護入門という位置づけで、「リラックスケア！～心と体に寄り添う手あて～」と題し、介護から来る緊張やストレスを和らげるメンタルケアや手のぬくもりによるコミュニケーションをハンド&アームケアで学ぶというもの。

今回参加された約30名の中には介護中の方はいらっしゃらなかったので、ふれること・手あての体験を通して手のぬくもりが人の心まで温かくすることを伝えました。講座の最後には「幸せなら手を叩こう」の歌に合わせ、全員で腰のケアも行い、笑顔でいっぱいの2時間はあつという間に過ぎました。

佐賀

## 佐賀市で初の入門講座開講

1月28日(日)

水上 尚子

佐賀市で初めての入門講座がやっと開講となりました。参加者は男性1名、女性2名(全員介護職)。2名は開講を見送りされてお待ちいただいた方でした。

受講生は交代で施術を受けた時、手の温もりが伝わり心も温かくなるセラピューティック・ケアの素晴らしさを感じ取っていました。だからこそ介護施設の利用者や家族に施術してあげたいと、熱心に学ばれました。香りある空間で呼吸を整え音楽のあるゆっくりした時間の中でのセラピューティック・ケアは、とても喜ばれ私も充実した時間となりました。

連載

## 各地区たより ~群馬~

日本全国にいる会員の皆さんの活動や思いを知り、会員同士のつながりを感じるための連載企画です。

### 第23回桃の木祭にケアコーナーを出展しました

群馬県立県民健康科学大学は、前橋市の地域社会とともに歩んできた大学です。大学に、まるで寄り添うかのように流れる桃の木川の名を冠した学園祭は、「Thanks つむぐ想い、つなぐ未来」をテーマに行われました。

今回は、本学の教員としてではなく当協会の一員として、セラピューティック・ケアをお届けしました。栃木支部からのとても頼りになる応援をいただき、スタッフ総勢4名で、延べ41名の方々にぬくもりを伝えることができました。アンケートでは、ケアについて「良かった」「また受け

てみたい」という方が38名、そして、「こんないいものを知らないかったなんて」とおっしゃる方もおられました。今後も、地域社会への貢献、看護学部の学生たちのケアに対する関心を高めることを意識し、機会をとらえてこのケアを広めていきたいです。



埼玉支部:中野 あずさ

### 通信教育受講生レポート -レポート14-

日研セラピストコースを受講・修了し、インストラクターの資格を得るために、施設で実習後提出されたレポートです。

M.Yさん(秋田県)

施術させていただいた患者さんのご家族は前医からの関係を引きずり、医療者に不信感を持つ方でした。こちらから声をかけても素っ気なく、私だけでなく、他のスタッフもどうやって打ち解けていたらいいか、悩んでいました。

そんな時、談話室で、1人でぼんやり座っているその方を見かけ、「マッサージの勉強をしているので、手を貸していただけませんか?」と声をかけました。その時は自信もなく、勇気のいる行為でした。その方は少しひっくりした様子でしたが、ハンド

&アームケアを受けていただけました。

私は少し緊張していて、自分からあまり喋らずにいましたが、ご家族の方から少しづつ声をかけてくださいました。「なんの為のマッサージなのか?」「なぜ看護師さんがこんなことをするのか?」という質問から「人の手が触れるって気持ちがいいね」「温かくなってきた」「父にもやってあげて欲しい」など表情も和らいで行くのを目の当たりにしました。そして、これをきっかけに打ち解けることができたのです。



### 当協会へのご寄附は税控除の対象となります。

#### 1. 個人によるご寄附の場合

所得税の算定において特定寄附金とみなされ、寄附金控除の対象となります。所得控除もしくは税額控除のいずれか、メリットが大きい方を選ぶことができます。

①税額控除: (寄附金額合計-2,000円) × 40% が所得税から控除されます。

②所得控除: 寄附金額合計-2,000円が所得から控除されます。

\*控除を受けるためには、所轄税務署にて確定申告を行なってください。

#### 2. 法人によるご寄附の場合

一般寄附の損金算入限度額とは別に、特定公益増進法人に対する寄附金の額と合わせて、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入が認められます。

\*損金算入するためには、寄附金査収日を含む事業年度の税務申告書提出の際、当協会の発行する所定の領収書を添付し、申告書をご提出ください。

#### 3. 相続人等による相続財産等のご寄附の場合

取得した財産を相続税の申告期限までに当協会に寄附された場合、寄附した財産の価額は相続税の課税価格の計算の基礎に算入されません。

\*控除を受けるためには、相続税の申告書提出の際、当協会の発行する所定の領収書を添付し、申告書をご提出ください。

#### 【お振込先】

寄附金専用口座

ゆうちょ銀行 01770-6-166454

(特非)日本セラピューティック・ケア協会

認定NPO法人

日本セラピューティック・ケア協会

〒818-0125 福岡県太宰府市五条2-6-1-202

TEL:092-928-1546

FAX:092-555-9401

E-mail:info@therapy-care.net

URL:<http://therapy-care.net>

